

東海・近畿・四国地方における GPS 観測結果(2008 年 1 月～2010 年 7 月)

産業技術総合研究所活断層・地震研究センター地震地下水研究チーム

産総研では、地下水等総合観測の一環として、東海、近畿、四国の一部の観測点で GPS による地殻変動の観測を行っている。観測点の分布を図 1(黒色の点)に示す。基本的に地下水等総合観測施設のうち、近くに国土地理院の GPS 観測点(図 1 で灰色の点)がない観測井に設置されている。2010 年に 2 点を加えて 11 点で観測を行っている。

観測結果を図 2～12 に示す。これらの図はそれぞれ上の段から、国土地理院のつくば 1(92110)を基準とした各観測点との間の長さ(斜距離)、東西成分、南北成分、上下(比高)成分を示している。産総研観測点周辺の国土地理院観測点を加えて解析を行っている(図中では灰色の三角で示す)。2010 年 2 月からは、新たに観測を開始した安濃・須崎およびその周辺の国土地理院観測点も加えた解析を行っている(図中では黒色の丸で示す)。そのため、同月以降は 2 種類の結果を示している。

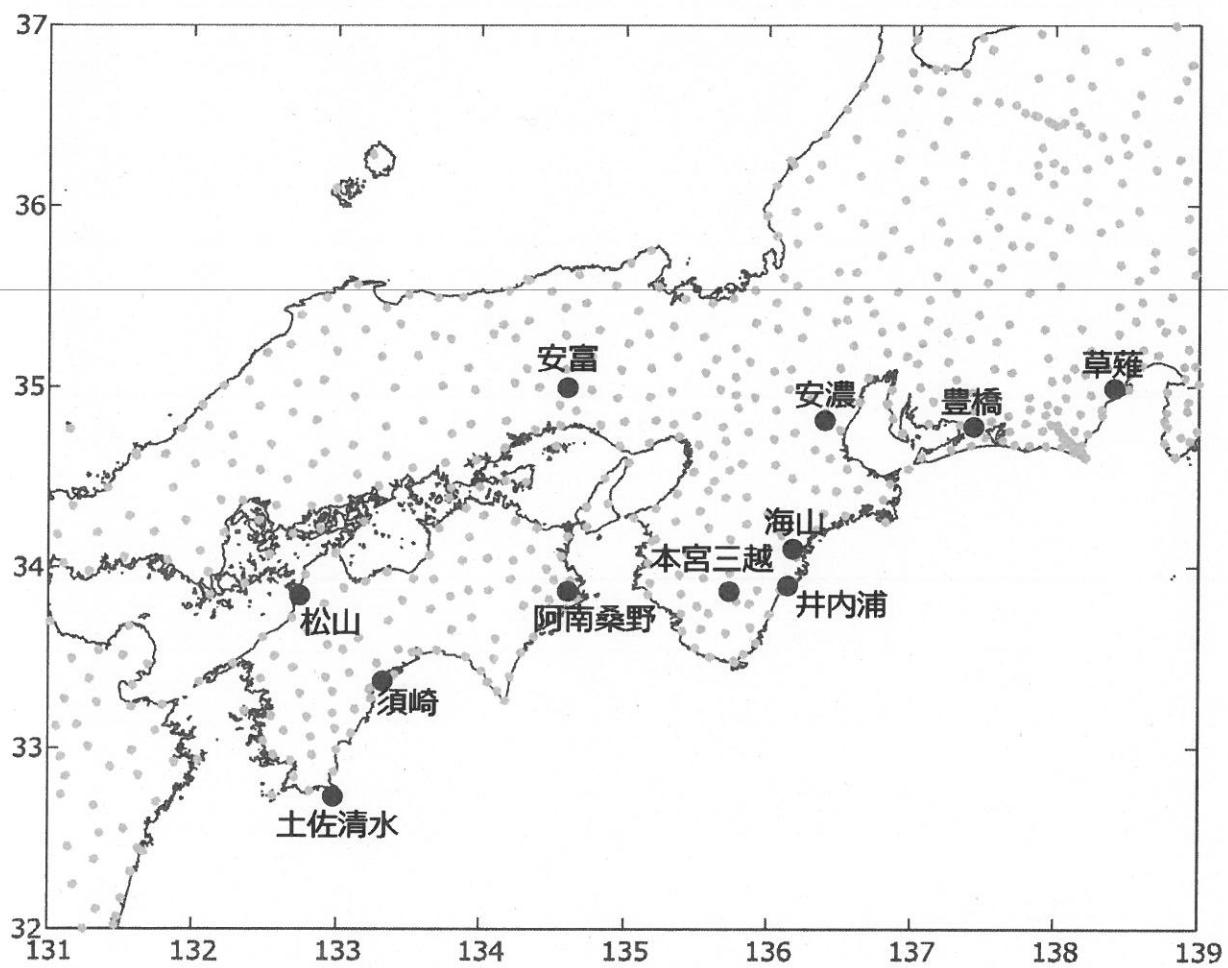


図 1：産総研の GPS 観測網（黒色の点）と国土地理院の GPS 観測網（灰色の点）

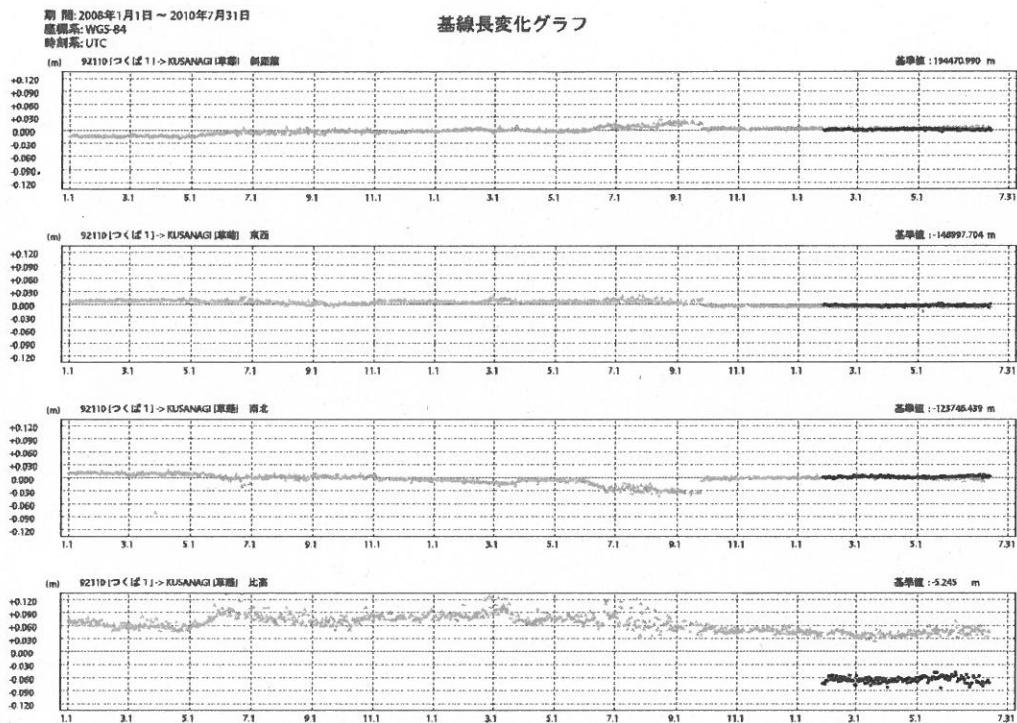


図2：草薙のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

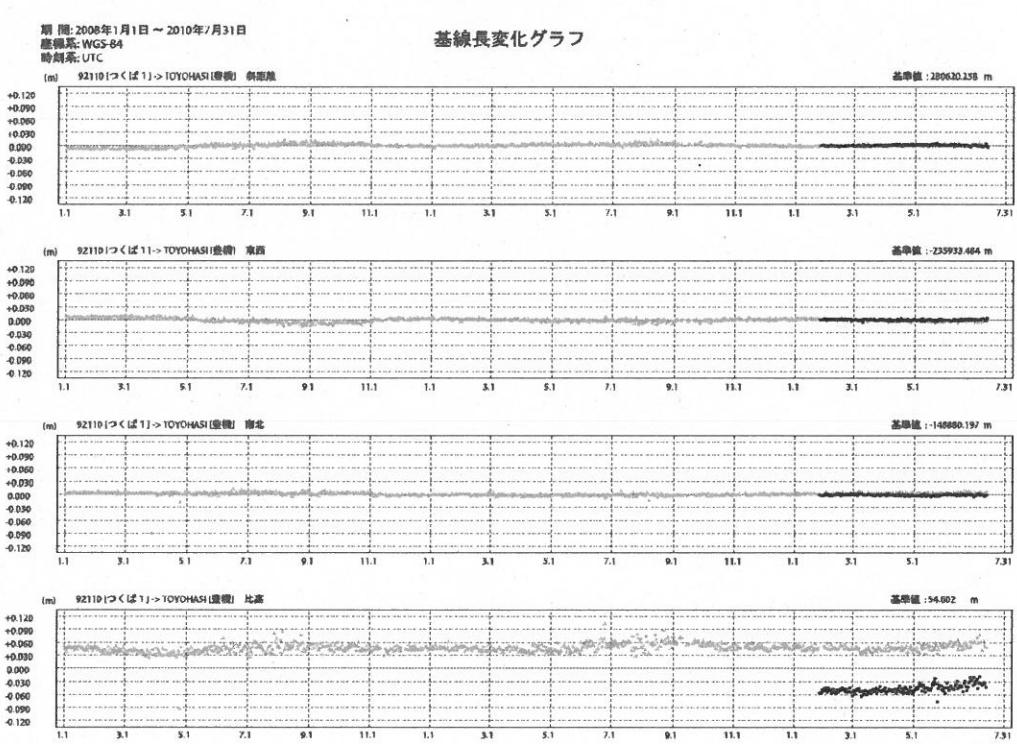


図3：豊橋のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

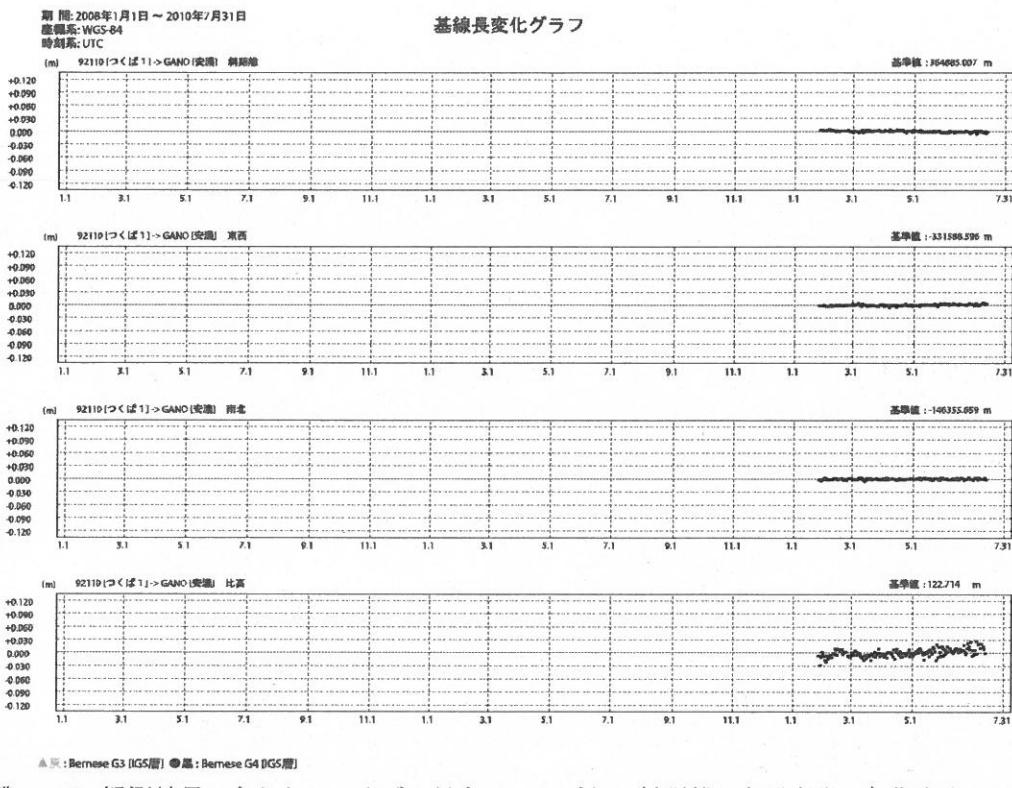


図4: 安濃のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

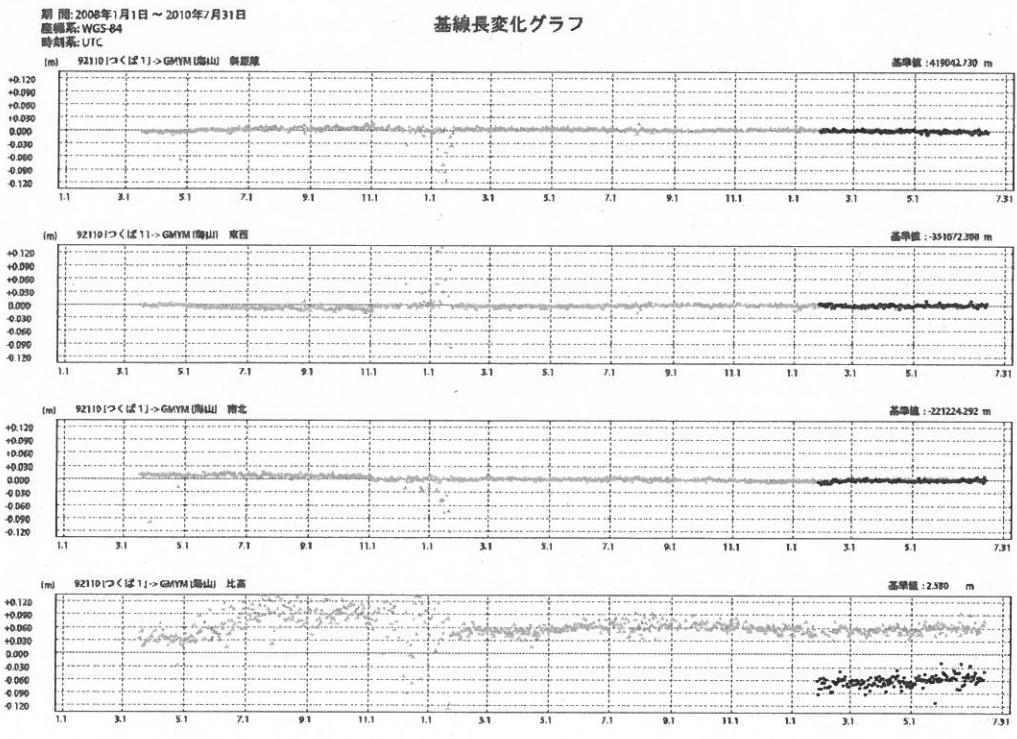


図5: 海山のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

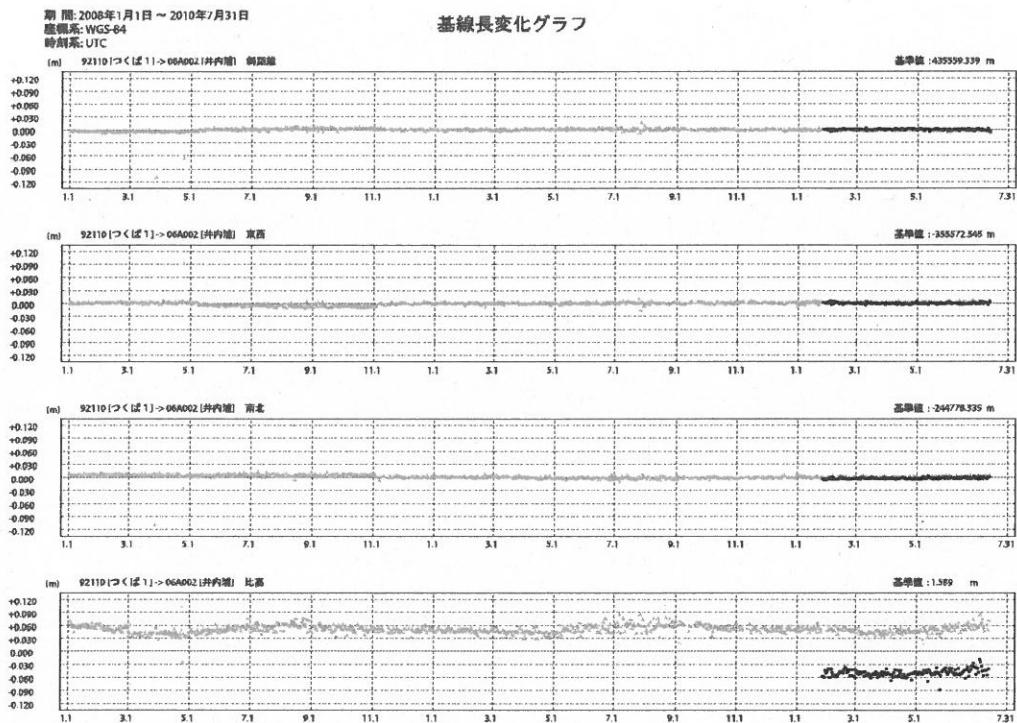


図6：井内浦のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

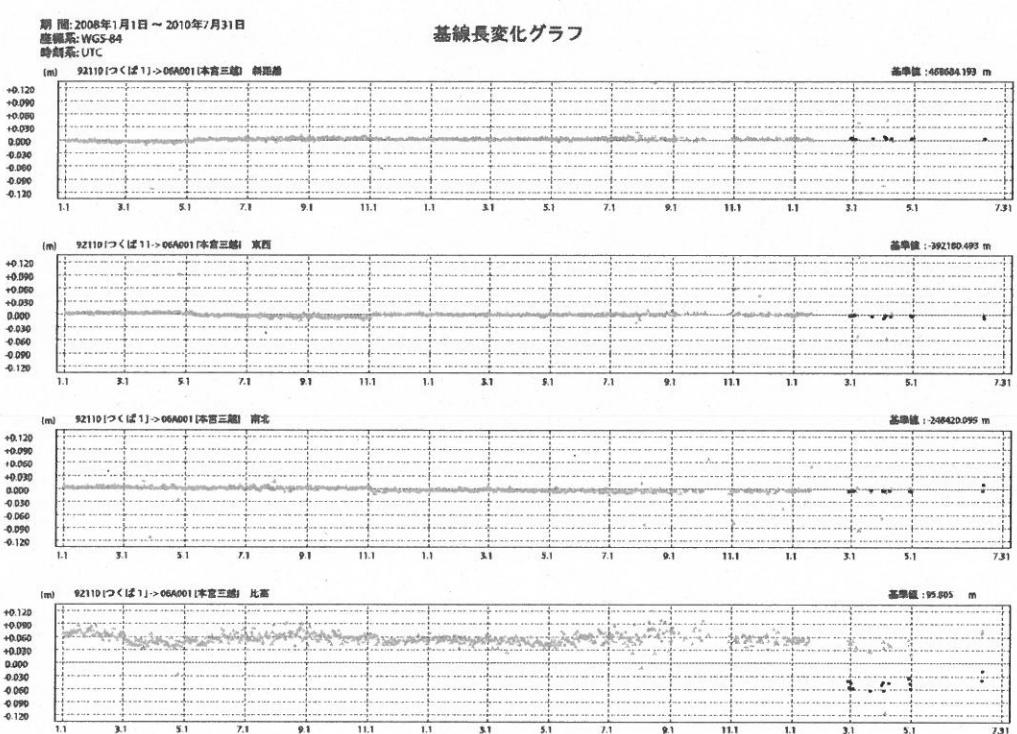


図7：本宮三越のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

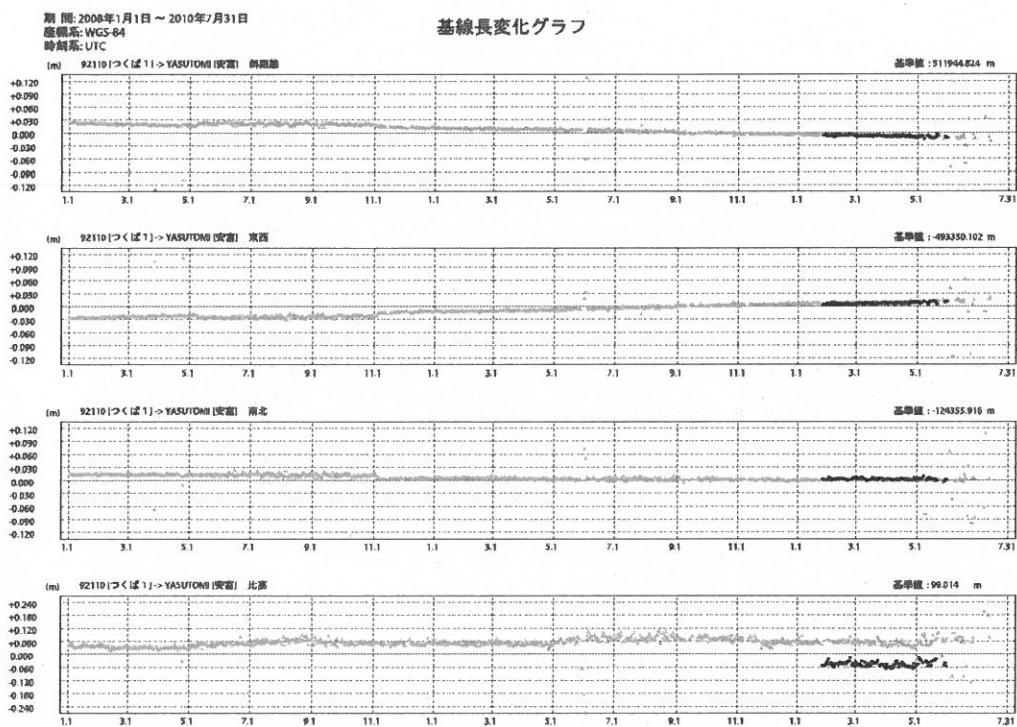


図8：安富のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

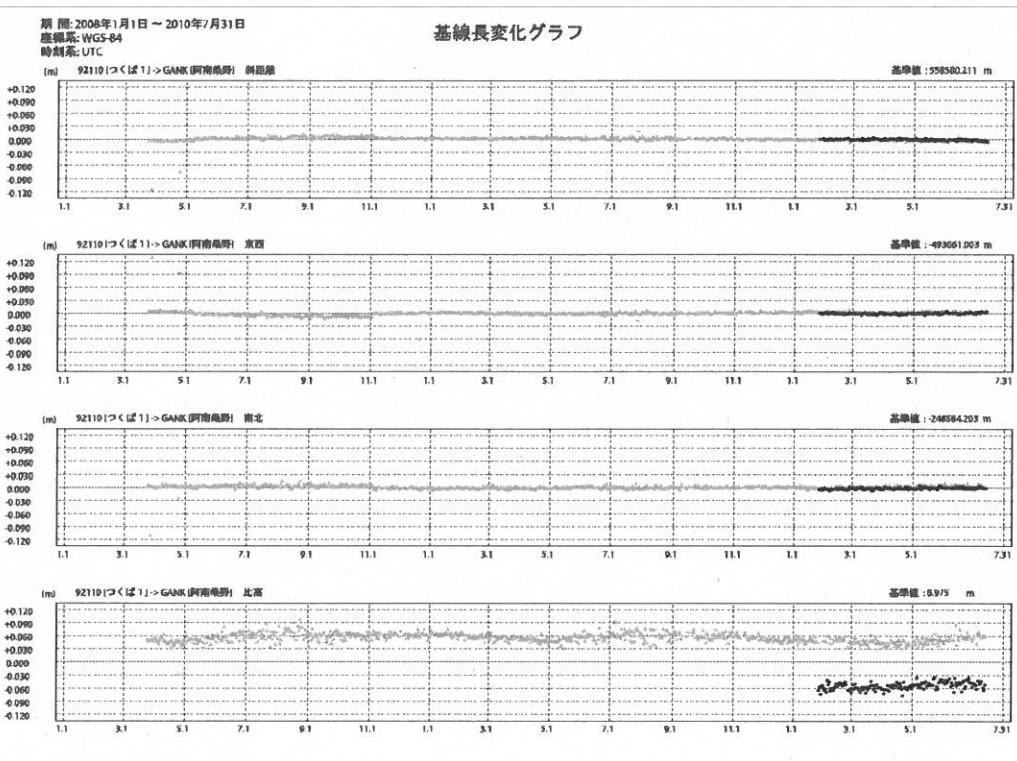


図9：阿南桑野のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

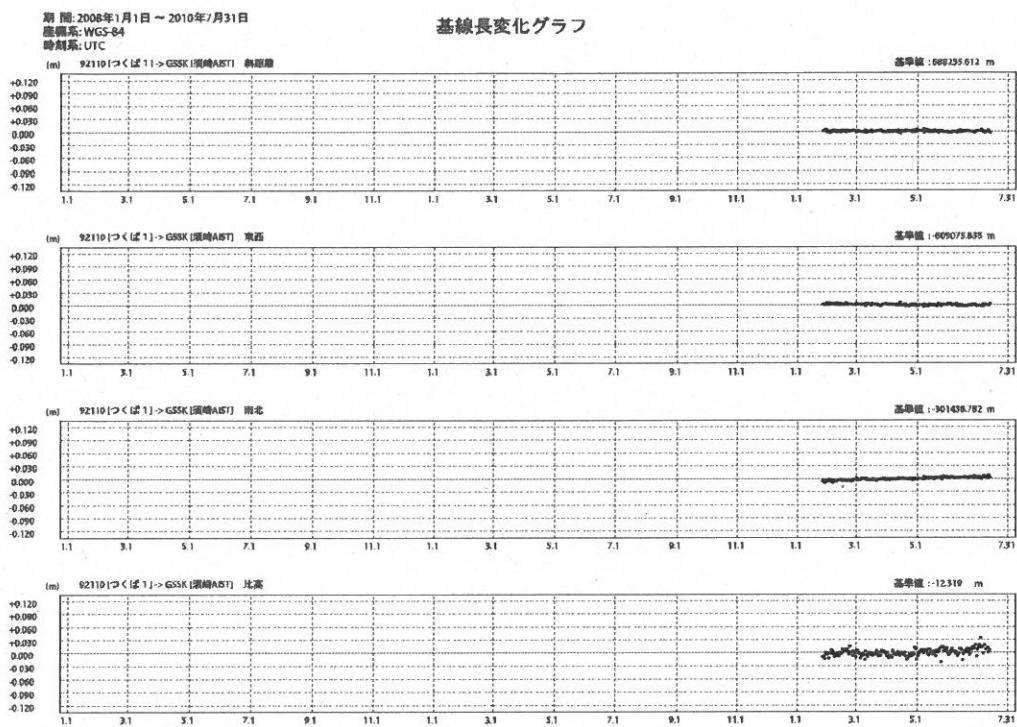


図 10：須崎の GPS 観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

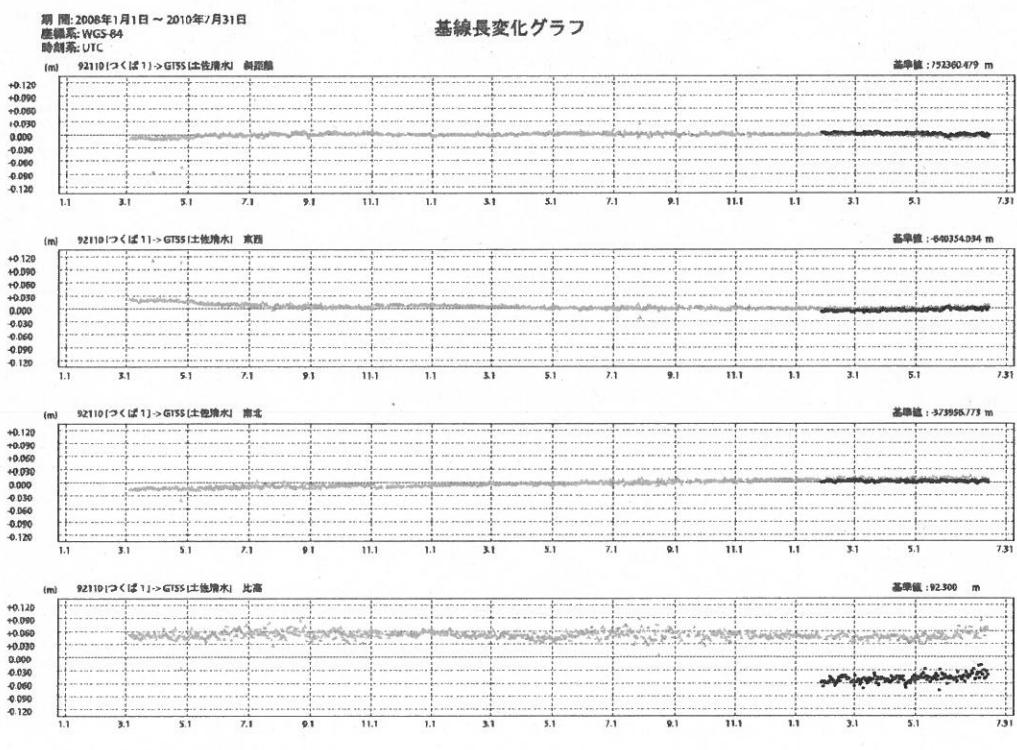


図 11：土佐清水の GPS 観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。

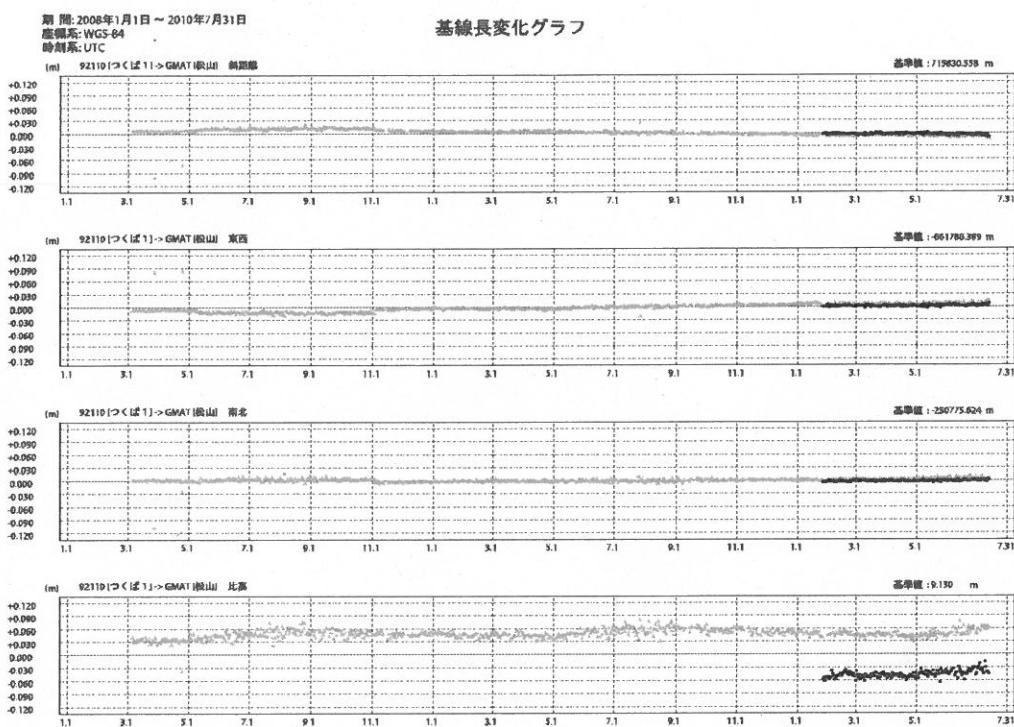


図12：松山のGPS観測結果。上から、つくばに対する一日ごとの斜距離、東西成分、南北成分、比高（高さ）成分を示す。